

建設新聞



発行所
建設新聞社
〒980-0821 仙台市青葉区巻町7-5
市外局番(022)221-下記番号
総務部 46001 FAX221-4633
編集部 46002 FAX221-4170
編集事業部 46003 FAX221-4637
営業部 46004 FAX268-5416
編集事業部情報室 46006 FAX221-4637

◎建設新聞社 2020



ISO9001 審査登録
総合建設コンサルタント
株式会社 ドーコン
東北支店
〒980-0811 仙台市青葉区一番町4丁目1-25
Tel:022-226-2890 Fax:022-2694666-1

主な記事
▽2〜3面 宮城版
▽6面 岩手版
▽8面 山形版
仙台区が仙台泉線の愛
ひまわり愛育会が尾花
東北各県労働局の冬季

フクダ・アンド・パートナーズ

仙台長町FCC建設へ

S造5階建て2734㎡の倉庫付きオフィス

仙台市郡山にBCP対応の第3次拠点

物流施設づくりの設計やプロジェクトマネジメントの最大手であるフクダ・アンド・パートナーズ（東京）が、仙台市郡山に建設を計画している「仙台長町未来共創センター」[仮称略称・仙台長町FCC（フューチャー・コ・クリエーションセンター）]について、自社で設計作業を進め、今年末の着工を目指している。

フクダ・アンド・パートナーズは、BCP（事業継続計画）の東京周辺以外の代替拠点（第3次拠点）として仙台市を選択し、東京・首都圏で大災害が起きた際に経営執行業務の継続が困難な場合は、その機能を仙台長町FCCに移すことに決定した。さらに、サイ

72施設の復旧に関わった経験と、「ESG（環境・社会・ガバナンス）」+「SDGs（持続可能な開発目標）」への取り組みから、仙台で発生した場合には、帰宅困難者受け入れ施設として地域防災拠点の機能を持たせ、平常時には企業防災の情報発信拠点や仙台市内企業の災害時用備蓄倉庫になるように整備し、社会貢献につなげていく考え。

また、企業BCPについて、七ヶ宿ダムから取水した

て東北大学教授より学術指導を受け学んだことを仙台長町FCCにも生かし、仙台と東京が同時に大規模災害によって被災しない可能性が高いという特性を生かして、自社のBCP整備および他社のBCP支援を進めていく。

機能が変わる
リバーシブルビル
仙台長町FCCのメインコンセプトは「平時と非常時には機能が変わるリバーシブルビル」

NECO日本
確認申請は12月4日まで
NE東
青森管内の橋梁補修設計
NEECO東日本青森管
理事務所は19日、碓ヶ関ICから浪岡IC間を対象とする「青森管内橋梁補修設計」を総合評価落札方式で、同21日まで受け付け、開札は翌22日13時30分に行う。参加資格は、NEECO

シブルビル」。平時は「共創」の場として人と企業を育て新しい価値を創造する施設、非常時は「共生」の場として地域密着の防災施設、帰宅困難者の一時滞在施設としての役割を果たす。建設場所は、あすと長町エリアに隣接する仙台市太白区郡山6の1の20地内で、既に稼働している同社が設計担当した大型物流施設DPL仙台長町の隣接地となる。敷地面積は1426.6平方メートル、施設規模は

S造5階建て、延べ2734.87平方メートル（規模は拡大変更の可能性有する）。施設の完成は来年12月末を予定している。
なお、同社は、創業以来19期増収増益基調の成長企業で、創業者の福田代表は大手ゼネコン時代に長年勤務していた仙台の地にビジネススマンとして育てられたとの思いから、オフィスビルには仙台市内の災害時の事業継続を必要とする企業だけでなく、子供を育てる

施設や、スタートアップ企業、イノベーション企業にも入居してもらい、共に成長していく仕組みづくりを構想している。BCP対応倉庫付きオフィスや倉庫シェア、コロナ時代の郊外型シェアオフィス誘致、DX（デジタルトランスフォーメーション）活用モデルの実験の場として活用できないか構想して企業・事業の連携も模索している。

参加資格
福島工
18日、学
の若葉寮
体設計業
の対象と
申請書
月2日、
に行う。

高専
福島
中